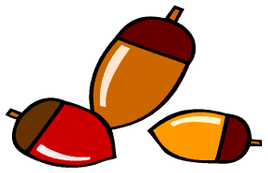
初志貫徹



加古川市立浜の宮中学校　第３学年　　令和８年９月２８日

９月が終わり、10月となります。10月は体育大会コーラス大会があり、3年生は中間テスト、実力テストもあります。2学期最初の目標を覚えていますか？

10月も「初志貫徹」を忘れず、全員でいい思い出をさらにつくっていきましょう。



日	月	火	水	木	金	土
９月27日	９月28日	９月29日	９月30日	10月１日	10月２日	10月３日
	ノー部活デー	ノー部活デー	ノー部活デー	中間テスト 下校時刻 17:15 ノー部活デー 給食なし	中間テスト 給食なし	
10月４日	10月５日	10月６日	10月７日	10月８日	10月９日	10月10日
	専門委員会		ノー部活デー			
10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
	スポーツの日	体育大会予行 ノー部活デー	体育大会準備	体育大会 給食なし		
10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日
	合唱練習開始	３年実力テスト ノー部活デー				
10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日
	ノー部活デー	加印連合音楽会	文化発表会準備	コーラス大会 文化発表会 オープンスクール		
11月１日	11月２日	11月３日	11月４日	11月５日	11月６日	11月７日
下校時刻 17:00	専門委員会	文化の日	ノー部活デー	オープンハイスクール 3年給食なし	オープンハイスクール 3年給食なし	

人権学習をしました



人権学習では「ちがいのちがい」、「昔から今も続く差別」など、さまざまな内容を1年から学習しています。

今回は「三月三日の風」の視聴を通して、差別に立ち向かった人々の思いや今後の自分の生き方など、いろいろな点について考えました。感想を紹介します。

出身地や身分がちがうだけで差別され続けるのはちがうと思いました。水平社宣言の「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という言葉がいいなと思いました。もう、差別されない、差別しない、新しい時代の希望の光ってことだと思いました。私たちは、今普通に過ごせているけど、この普通に過ごせているのは当たり前じゃないと思いました。この授業を通して差別への考え方が変わりました。みんなとちがうからなどの理由で差別するのは本当にだめなことだと思いました。これからは差別しないのはもちろん、差別やいじめをされている場面をみたら止めようと思いました。

生まれた場所で立場が決まり差別されるのはおかしいと、あらためて思いました。どこに行っても差別されるし、解放令が出された後でも「新平民」として結局差別され、いつ自分の身分がばれるか分からない不安を抱えながら生きていくなんてしんどいし、苦しいと思いました。差別のせいで学校へ通えず、通ってもいじめや嫌がらせを受け、遠くへ逃げても身分がばれるのに耐えられずに部落に戻ってきてしまうのは見ていてしんどかったです。それでも、あきらめず自分の意見を部落の人に伝えたり、行動にうつせたりするのは本当にすごいと思いました。部落差別をなくすために、水平社をつくっても、警察に目をつけられますが、自分の思いを強く伝え、自分の言葉で人の心を動かし、水平社のためにたくさんの人が集まり、水平社を創立したことも、とてもすごいことだと思いました。

水平社がなければ、今でももっとひどい差別があったのではと考えさせられました。

今日の授業で差別はどのようなことから始まったのか、人権とはどのようなことなのか、人権の大切さなど、いろいろなことがあらためてわかりました。水平社は社会の授業で習っていたので、知っていましたが、水平社がどのようにできたのかは知らなかったので、今回新しく学べました。何か行動することによって、人権などのさまざまな権利が守られたり、自分の考えを他の人に伝えたりすることができるとわかりました。一致団結をすることが大切で、長年差別をされてきた人たちと、差別をしていた人たちは同じ人間なのに、解放令が出された後でも差別やいじめが続いていて、長年続いていた差別は簡単になくならないことがあらためてわかりました。これからは差別やいじめをしないように、させないように過ごしていきたいです。

差別が苦しく、なかなかなくならないことを動画をみて実感しました。東京に行ってもどこへ行っても差別され心が痛くなりました。「同じ人間なのに、何がちがうの」などの言葉を聞き、本当にその通りだと思いました。自由が奪われ、仕事や夢、学校で居場所がなくても、自分にできることを探し、協力をして立ち向かえるような人に私はなりたいなと思いました。少しでも差別が減ってくれるよう、まず知ることから始め、自分にできることをみつけていきたいと感じました。

教科書で、全国水平社と水平社宣言について学習したけど、多くの人が長い間好きなこともできず、周りの人と同じように生活できなかったことを知りました。また、今でも差別が続いていることをとても残念に思います。同じ人間なのに同じ人間として扱ってもらえないということは絶対あってはならないことなのに、日本では長い間それが「当たり前」として根付いてしまい、多くの人々が苦しむという結果になってしまったことがわかりました。

差別をされていた人々は現代にまで続く能や、医学の発展に大きな力となっているので、苦しい中でも守ってくれてとてもありがたいことだと思いました。